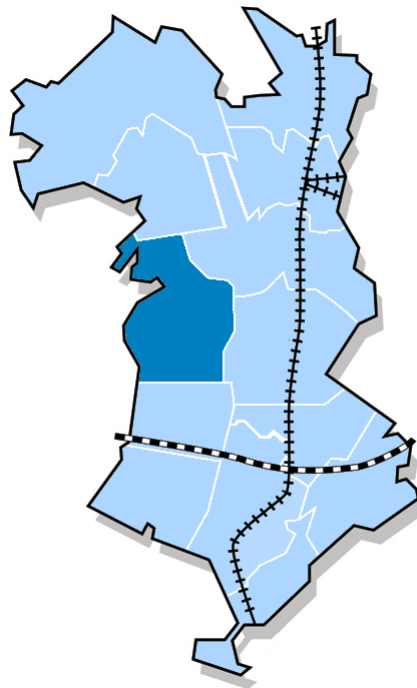


藤沢市新総合計画

湘南大庭地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

住みたい，住み続けたいまち，湘南大庭



地区のあらまし

湘南大庭地区の人口は、2010年（平成22年）12月1日現在で、31,985人で全市の7.9%を占めています。65歳以上の人口が占める割合(高齢化率)は、19.6%で13地区の中では6番目に低い地区となっていますが、10年後の2020年（平成32年）には、33.7%と推計されており、13地区で一番高齢化率が高い地区となり、急激に高齢化が進む地区となっています。

湘南大庭地区は、藤沢市の西北部、藤沢駅から4km、辻堂駅から2kmに位置し、面積は5.16km²、相模原台地、座間・高座丘陵の南端に属したゆるやかな起伏に富んだみどり豊かな丘陵地で、東境には引地川が流れ、大庭千石と呼ばれた水田地帯が広がり、西境には茅ヶ崎市のみどりと隣接する自然の豊かなところです。

15万年くらいまでは海底だったと言われ、1万年前くらい前に小さな集落ができたことが、大庭の城山・築山の遺構から推測されており、大庭城址をはじめとする歴史的文化的文化財も点在しているところです。

湘南大庭地区のまちづくりは、昭和40年代に押し寄せてきた無秩序な開発の波によるスプロール化を防ぎ、計画的な開発を行い優れた自然環境を保ち、農地と調和した新しい住宅市街地をつくることを目的として「都市と農業の調和するまち 湘南ライフタウン」の総合的まちづくりが行われたことによって始まっています。

地区の特色

「湘南ライフタウン」と呼ばれているこの地区の特色は、総合的なまちづくりが行われたゆえに、身近な自然を計画的に配置するなど様々な都市機能を併せ持つ藤沢市を代表する良好な住環境が魅力となっているまちであることです。

道路は、機能別に配置されており、生活道路は幹線道路の通過交通が入らない構造となっています。また、歩行者専用道路が設けられるなど歩行者の安全・安心も確保されています。

公園も計画的に配置され、街路樹も充実したみどり豊かな環境を提供しています。特に、四季折々に姿を変える大庭城址公園は、桜の名所でもあり、お花見の季節には市内外の多くの方々が楽しまれています。

大庭城にまつわる地名として二番構など数々の地名が残っており、舟地藏伝説は大庭城落城にまつわる悲しい物語として伝承されています。また、臺谷戸稲荷の森は昔の大庭の原風景を見ることのできる貴重な自然としてひっそりと残されており、市天然記念物にも指定がされています。

コミュニティは、「湘南大庭ふるさとまつり」によって成熟が図られてきています。湘南大庭市民センター・公民館の立地を活かして多くの人たちの参加によって地域全体が楽しめるコミュニティの場として発展をし、毎年、1万人の方々が地域あげてのまつりを楽しんでいます。



湘南大庭経営会議

10年後には、市内で一番高齢化率の高い地区になると予想されている湘南大庭地区では、高齢化への対応が大きな課題です。湘南大庭に長年住んでいる生活者の視点で高齢化を前提とした事業について、まちづくり課題検討部会など3部会を設け、真剣な議論をしています。

都市ビジョン1
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 人と人がつながり、ご近所力が発揮されるまち

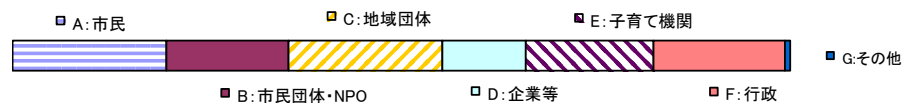
【成果指標】

①地域活動に参加したことがある人の割合

【現状値】①43%

【めざそう値】3年後：①50% 6年後：①57.5%

【役割の担い手】①A:20% B:16% C:20% D:10% E:16% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 あいさつ・声かけ運動の推進

<成果の視点> あいさつ・声かけ運動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 年代別地域活動に参加したことがある人の割合 (20代~40代)

○実施事業 地域見守り隊事業

地域交流コミュニティプラザ開設事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち

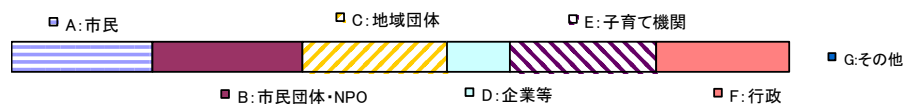
【成果指標】

①様々な活動団体が、子育てに関わっていると感じる人の割合

【現状値】①31%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:19% C:19% D:8% E:19% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－２》 子育てに関する人の交流と情報交換の場の拡充

<成果の視点> 子育ての交流の場を利用する人が増えていること

〔主要な指標〕 子育てサロン利用者数

○実施事業 ニコニコ子育て応援隊事業

子育てサロン拡充事業

中高生プラザ開設事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 地域に根ざした身近な保健・福祉・医療・健康のあるまち

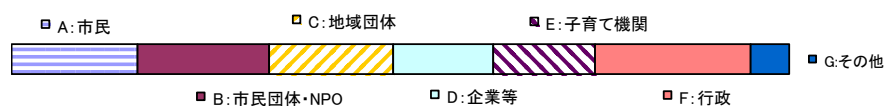
【成果指標】

①健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①37%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①52.5%

【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:16% D:13% E:13% F:20% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－３》 保健・福祉・医療が連携するネットワークの推進

<成果の視点> 保健・福祉・医療に関するサービスが充実していること

〔主要な指標〕 相談者数

○実施事業 健康なんでも相談事業

都市ビジョン2
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

04 誰でもが安心して暮らしやすいまち

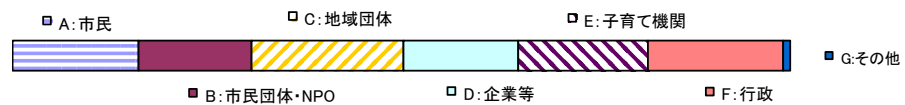
【成果指標】

①地域に暮らしやすさを感じる人の割合

【現状値】 ①72%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:19% D:15% E:17% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-4》 要援護者支援体制の推進

<成果の視点> 要援護者支援体制を整備した自治会が増えていること

〔主要な指標〕 地域に暮らしやすさを感じる 70歳以上の人の割合

○実施事業 要援護者把握促進支援事業

《活動-5》 高齢者・障がい者が暮らしやすい環境の推進

<成果の視点> バリアフリー化が進んでいること

〔主要な指標〕 地域に暮らしやすさを感じる 70歳以上の人の割合

○実施事業 歩行空間バリアフリー事業

中高層住宅エレベーター設置事業

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

05 地域の安全・安心を地域の活動で支え合えるまち

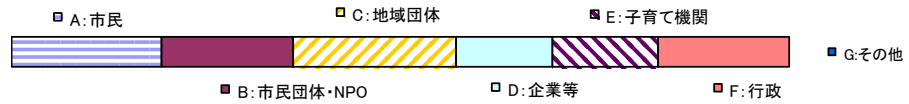
【成果指標】

①防犯パトロール参加者実績

【現状値】 ①20,290人

【めざそう値】 3年後：①23,000人 6年後：①25,000人

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:21% D:12% E:14% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 安全・安心のまちづくり実践活動の充実と推進

<成果の視点> 防犯活動・交通安全啓発活動・防災活動などが活発であること

〔主要な指標〕 交通安全教室などイベントへの参加者数

○実施事業 安全安心活動推進事業

【地域まちづくり目標】

06 地域の人々の顔と顔がわかるふれ合いのまち

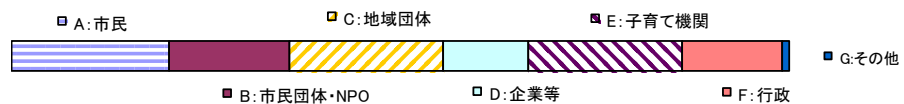
【成果指標】

①近所の方に挨拶や声かけをしている人の割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①65% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:20% D:11% E:20% F:13% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 地域住民が多数参加するイベント・事業の充実

<成果の視点> イベントや活動などが自治会でも活発に行われていること

〔主要な指標〕 物品の貸出等活動支援問い合わせ件数

○実施事業 ふれあい活動推進事業

【地域まちづくり目標】

07 自治会と様々な地域まちづくり活動が連携しているまち

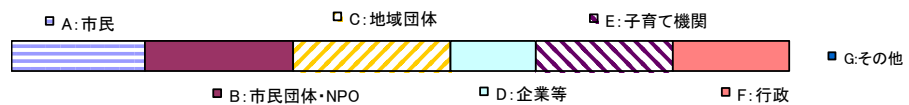
【成果指標】

①地域に支えられていると実感する人の割合

【現状値】 ①26%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:17% B:19% C:20% D:11% E:18% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 自治会と地域団体との連携事業の推進

<成果の視点> 様々な共催・連携事業が活発に行われていること

〔主要な指標〕 地域に支えられていると実感する若い人の数

○実施事業 地域団体参加者増加事業

《活動－9》 地区防災活動事業（共助）の推進

<成果の視点> 防災訓練などの防災活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 防災リーダー会活動事業数

○実施事業 防災活動推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

35 まちと自然環境の調和がとれていること

【地域まちづくり目標】

08 住民参加で自然環境が守られているまち

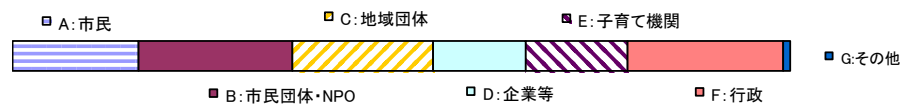
【成果指標】

①公園愛護会・美化ネット等の参加者数

【現状値】①2,757人

【めざそう値】3年後：①2,800人 6年後：①2,900人

【役割の担い手】①A:16% B:20% C:18% D:12% E:13% F:20% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-10》 花と緑あふれるまちづくり活動の推進

<成果の視点> 公園愛護会や美化ネットが積極的に活動していること

〔主要な指標〕 公園愛護会・美化ネット等の活動数

○実施事業 街路樹景観保全事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

09 エコタウンの実現が地域力・市民力で実践されるまち

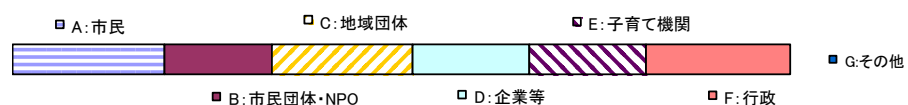
【成果指標】

①ごみの分別や節電など環境を意識した行動をしている人の割合

【現状値】①73%

【めざそう値】3年後：①80% 6年後：①87.5%

【役割の担い手】①A:19% B:14% C:18% D:15% E:15% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－11》 CO2 排出量削減に向けての啓蒙啓発活動の推進

＜成果の視点＞ 地域での低炭素社会への理解が広がっていること

〔主要な指標〕 一人当たりのゴミ排出量

- 実施事業 エコタウン化啓発事業
ハイブリット発電導入事業

【地域まちづくり目標】

10 環境美化の向上が地域住民の高い意識で進められるまち

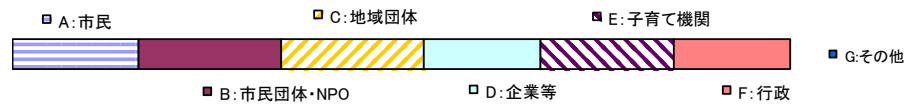
【成果指標】

①地区内環境美化活動の実施回数

【現状値】 ①143 件

【めざそう値】 3年後：①165 件 6年後：①180 件

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:19% D:15% E:17% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 環境美化活動への参加の促進

＜成果の視点＞ 地区内の環境美化活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 ボランティア清掃参加者数

- 実施事業 地域のゴミゼロ運動推進事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

11 若い人が住みたい、住み続けたいまち

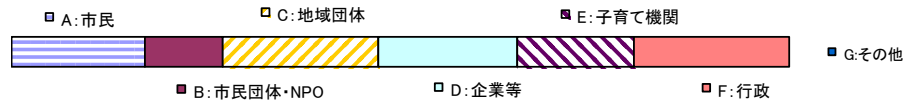
【成果指標】

①地域に住み続けたいと思う人の割合

【現状値】 ①67%

【めざそう値】 3年後：①75% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:17% B:10% C:20% D:18% E:15% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－13》 住宅環境・生活利便性・子育て環境等の向上

<成果の視点> 地域に若い人の活気があふれていること

[主要な指標] 地域に住み続けたいと思う若い人の割合 (40歳以下)

○実施事業 住まいの環境等調査研究事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

12 様々な公共的施設が誰からも親しまれ、守られ、活用されるまち

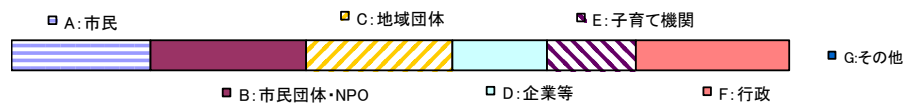
【成果指標】

①地域の公共施設を次世代のためによりよい状態で引き継いでいると感じる人の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①32.5%

【役割の担い手】 ①A:18% B:20% C:19% D:12% E:11% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 市民の家、自治会館等を利用した新たな地域コミュニティ活動の推進

<成果の視点> 公共施設の利用がより活発になっていること。

[主要な指標] コミュニティサロン利用者数

○実施事業 コミュニティサロン開設事業

【地域まちづくり目標】

13 地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち

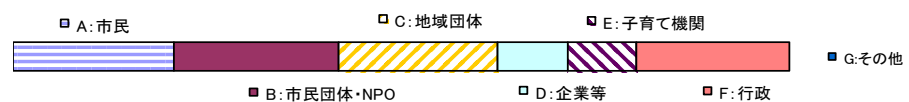
【成果指標】

①地域に、公園などの憩いの場があると感じる人の割合

【現状値】 ①78%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:21% B:21% C:20% D:9% E:9% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 地域に親しまれ、憩える公園としての維持・整備・活用の推進
＜成果の視点＞ 身近な公園が活発に利用されていること。

〔主要な指標〕 公園の整備・改修進捗率

- 実施事業 二番構公園再整備事業
健康増進公園改修事業

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

14 湘南大庭のライフスタイルが感じられるまち

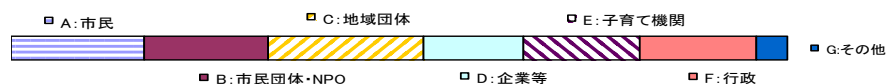
【成果指標】

①ライフスタイルが尊重されていると感じる人の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:20% D:13% E:15% F:15% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 地域資源を活用した魅力ある事業の推進

＜成果の視点＞ 各種イベントに訪れる人が年々増えていること

〔主要な指標〕 マップ配布数

- 実施事業 地域魅力発掘事業

【地域まちづくり目標】

15 人に優しい交通アクセスによって訪れたい・住みたいまち

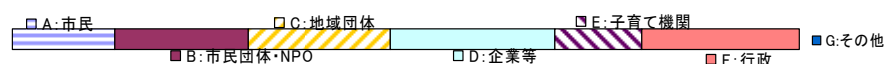
【成果指標】

①交通利便性が高いと感じている人の割合

【現状値】 ①48%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:13% B:17% C:18% D:21% E:11% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－17》 効率的でまちに優しい新たな交通システムの検討の促進

＜成果の視点＞ 地域住民の意見が十分に検討に活かされていること

〔主要な指標〕 新たな交通システムの企画立案数

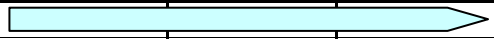
- 実施事業 地域交通システム検討事業

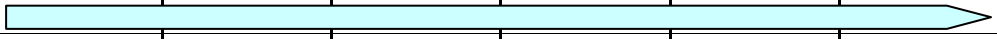
| | | | | | | |
|--------------|--|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 地域見守り隊事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-1-7-01-1-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>子どもの安全安心に関する環境の変化が社会的問題となっており、学校・家庭・地域が連携して安全確保を図っていく必要があります。</p> <p>安全安心を推進するため既に活動している「おはようボランティア」、「スクールガードリーダー」、「学校安全サポーター」などによる声かけ・あいさつ運動を拡充し、学校・家庭・地域が連携して地域全体で見守る体制の整備により子どもたちの安全確保を図っていきます。</p> <p>1 声かけ・あいさつ運動の拡充 2 放課後見守り活動の推進</p> | | | | | |
| 活動指標 | おはようボランティア登録者(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 43人 | 3年後目標値 | 55人 | 6年後目標値 | 70人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 安全安心活動をしている団体・個人が連携・協力することで、地域全体での見守り体制の整備・強化が進むことが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 子どもの安全確保を目的とした事業により、地域の交流の輪が広がり気軽に声を掛け合える環境づくりが進むことから、「人と人とのつながり、ご近所力が発揮されるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|-----------|--------|------|--------|---|
| 事業名 | 地域交流コミュニティプラザ開設事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-1-7-01-1-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>地域交流コミュニティプラザは、複合的な目的・機能を有する新たな地域コミュニケーションの拠点として、遊休市有地(保留地等)を有効活用して開設を進めます。</p> <p>子どもから高齢者、障がい者まで、誰でもが集い活動することにより新たなコミュニケーションの醸成をめざします。</p> <p>1 地域住民や地域団体との調整 2 必要機能の検討</p> | | | | | |
| 活動指標 | コミュニティプラザ構想の策定率(提言) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域住民及び関連地域団体は、世代間の交流や活動団体間の交流などによって、新たな地域活動への発展及び新たなコミュニケーションにより地域力を高め、みんなで助け合う共助のまちづくりが期待されます。建設運営は公民連携事業として進めることが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | → | 計画・提案 | 実施 | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | コミュニティプラザの必要性等を検討する過程で、地域の課題があらためて認識されるとともに、住民相互の意思疎通が図られることにより、「人と人とのつながり、ご近所力が発揮されるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | ニコニコ子育て応援隊事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-13-02-2-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>安心して子育てができる環境の整備や支援は、子育て環境の変化によって多くの潜在的ニーズがあり、子育てに優しいまちづくりを実現するためには、いつでも相談ができる体制づくりや親子の交流の促進を図る必要があります。</p> <p>子育て関係団体等の組織化・ネットワーク化を図ることにより、子育てサークル間の交流や子育て中の親同士の交流を促進し、地域の子育て環境を整備します。</p> <p>1 保育ボランティアや子育て経験者など子育て応援支援者の拡充と活用 2 組織化・ネットワーク化の推進</p> | | | | | |
| 活動指標 | 子育て支援者の拡大とネットワーク化率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 50% | 6年後目標値 | 80% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 子育て中の家庭をはじめ、ボランティア、地域団体が協力体制を強化することで、保育ボランティアや子育て経験者による子育てネットワーク化が期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 子育て応援者や子育てサークル等のネットワーク化を図ることにより子育てコミュニケーションが醸成され、「地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|---------------|--------|-----|--------|----|
| 事業名 | 子育てサロン拡充事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-13-02-2-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>大庭子育てサロン「びよびよ広場」は、地域団体の運営により月1回開催されています。</p> <p>子育てサロンは、親子が気軽に集える場所、親子同士が気軽に交流できる場としてニーズが高いため、その拡充を検討します。</p> <p>1 開催回数増と開催場所の多様化の検討 2 ニコニコ子育て応援隊事業との連携による内容の充実</p> | | | | | |
| 活動指標 | サロンの開催数(月間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 1回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 4回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 子育てサロンに関連する地域団体が活動の場の拡充を図ることにより、子育ての環境整備が推進されることが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 子育て中の親と子どもが気軽に集える場として子育てサロンはニーズが高く、また、協力者相互の連帯感の強化や参加者同士の交流が将来の地域活動につながります。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|-----------|--------|--|--------|-----|
| 事業名 | 中高生プラザ開設事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-2-13-02-2-3 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>子ども子育て環境の整備が進む中で、中高生の居場所づくりが課題として浮き彫りにされてきています。いつでも集える場所、仲間づくりの場所、子どもから中高生までの幅広いニーズに対応することができる中高生プラザの開設を進めます。</p> <p>中高生プラザについては、地域交流コミュニティプラザ内への開設とし、世代間交流ができる機会と場の提供もめざしていきます。</p> <p>1 実態調査の実施 2 青少年関連団体及び地区内学校との調整</p> | | | | | |
| 活動指標 | 中高生プラザ構想の策定率(提言) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 学校をはじめ地域の青少年関係団体との連携をとりながら中高生の実態を把握する中で、地域全体で課題解決を図っていくことが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 |  | | |
| (市域全体) | 検討 | → | → | 実施 | → | → |
| 期待される事業の成果 | 青少年の居場所づくりは地域課題の一つであり、この事業により中高生が地域にとけ込める環境づくりを進めることで、「地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|---------------|--------|--|--------|-----|
| 事業名 | 健康なんでも相談事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-3-23-03-3-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>生き生きと安心して暮らせる環境を整えるためには、地域住民が自らの健康づくりを心がける必要があります。地域住民の健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。</p> <p>1 それぞれの世代にあった健康づくりに関する講演会及び健康相談会の開催 2 地域への啓蒙啓発活動の実施</p> | | | | | |
| 活動指標 | 健康相談事業の実施階数(年間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域住民個々が抱える健康への考え方が様々ある中で、医師会との連携を強化することで、地域医療体制の充実が期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 |  | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 期待される事業の成果 | 湘南大庭地区で開業している医師を中心に講演・相談事業を実施することで、健康づくりがより日常的なものとなり、「地域に根ざした身近な保健・福祉・医療・健康のあるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 事業名 | 要援護者把握促進支援事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-4-31-04-4-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>要援護者支援を進めるためには、自治会・町内会もしくは自主防災会単位でその地区の要援護者の状況を把握する必要があります。</p> <p>市から提供される要援護者情報のほか、市では得られない要援護者情報を把握し、共助のまちづくりが推進されるよう関係機関と共に把握促進を支援し、災害時の安全確保の仕組みづくりを進めます。</p> <p>1 湘南大庭地区防災協議会との調整 2 自治会・町内会への啓蒙啓発活動の推進</p> | | | | | |
| 活動指標 | 要援護者支援体制が確立された自治会・町内会数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0自治会等 | 3年後目標値 | 20自治会等 | 6年後目標値 | 40自治会等 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 要援護者支援を進めるためには自治会・町内会、防災協会等の地域力を持って進めることが必要とされるため、関連地域団体の自主的活動が期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 期待される事業の成果 | 要援護者の把握は個人情報との関連から慎重な取り組みが求められますが、災害時等には人命に関わることから地区内への啓発活動を展開することで、「誰もが安心して暮らしやすいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|---------------|--------|------|--------|-------|
| 事業名 | 歩行空間バリアフリー事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-31-04-5-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>高齢者・障がい者などすべての人にとって、「歩いて優しいまち」「歩いて楽しいまち」の実現に向けて、地域住民や団体等の意見を取り入れながら、歩行空間の整備を促進します。</p> <p>1 歩道の段差の解消等のバリアフリー化の推進</p> | | | | | |
| 活動指標 | 歩道の段差の解消箇所数 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0か所 | 3年後目標値 | 75か所 | 6年後目標値 | 137か所 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 自治会・町内会や高齢者関連団体など、地域力を持って進めることが最も適切であるため、その役割が期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | | |
| 期待される事業の成果 | 急速な高齢化の進展が予測されている湘南大庭地区において、高齢者・障がい者が外出しやすいまちづくりを進めることで「誰もが安心して暮らしやすいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|-----------|--------|------|--------|-----|
| 事業名 | 中高層住宅エレベーター設置事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-4-31-04-5-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>湘南大庭地区は、高層・中層・低層の住宅が計画的に配置された街並みになっています。</p> <p>急速な高齢化を迎える中で中層住宅における高齢者の移動手段が課題として浮き彫りになり、高齢者の引き籠もりも懸念がされるようになってきているため、中高層住宅へのエレベーター設置事業について調査・研究・検討を進めます。</p> <p>1 他都市の事例研究 2 地区内の実態調査 3 実現可能性の検討</p> | | | | | |
| 活動指標 | 中高層住宅へエレベーター設置構想の策定率(提言) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民と地域団体による現状把握と対応策の検討が期待されるとともに、市は設置に伴う助成及び、代替措置の斡旋などの支援を検討します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | -----> | | | | | |
| | 検討 | → | → | | | |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 高齢者の社会参加を阻む要因を除外する方策を検討することで、「誰もが安心して暮らしやすいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|-----------|--------|---------|--------|---------|
| 事業名 | 安全安心活動推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-4-34-05-6-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>安全・安心のまちづくりを地域活動により進めていくため、地域諸団体との協働により、安全安心活動推進事業を実施します。</p> <p>1 自治会町内会等における防犯パトロール隊の結成・活動の推進 2 防犯協会等による青色パトロール隊活動の推進 3 交通安全対策協議会と学校関係者及び地域住民による交通安全教室等交通マナー向上の推進 4 防災協議会等防災関係団体による防災意識の啓蒙活動の推進</p> | | | | | |
| 活動指標 | 防犯パトロールへの参加者数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 20,290人 | 3年後目標値 | 23,000人 | 6年後目標値 | 25,000人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 事業の実施に当たっては、湘南大庭地区全域での活動展開が必要とされるため、安全安心活動を行っている諸団体等と市が連携して活動を推進します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | -----> | | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 防犯パトロール活動や防犯講演会の開催などにより地区内の犯罪発生を未然に防ぐとともに、高齢化が進んでも安心して暮らせる環境を地域住民の連携により維持することで、「地域の安全・安心を地域の活動で支えるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|---------------|--------|------|--------|------|
| 事業名 | ふれあい活動推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-34-06-7-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>地域活動の基礎団体である自治会・町内会の活動を活性化することにより地域内のコミュニケーションの醸成と、地域住民のふれあい・助け合いの輪の発展を図る事業を実施します。</p> <p>1 自主的活動に必要な物品等の貸出 2 活動推進への助言</p> | | | | | |
| 活動指標 | 自治会等活動の支援団体数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 22団体 | 3年後目標値 | 35団体 | 6年後目標値 | 50団体 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民団体が中心となり自治会・町内会等の活動支援を実施することで、地域活動が盛んになるとともに、住民相互の交流事業が活発に行われることが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | -----> | | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 近所づきあいが少なくなる中で、接点となる地域活動を活発化することで、「地域の人の顔と顔がわかるふれ合いのまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|-----------|--------|-----|--------|----|
| 事業名 | 地域団体参加者増加事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-4-34-07-8-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>地域諸団体で活動している地域住民は固定化現象にあり、活動の発展への足がかりが求められています。各団体の活動目的に対する意欲ある地域住民の参加によって、団体も発展が図られることから地域活動への参加を促進します。</p> <p>1 団体活動説明会の開催 2 地域団体意見交換会の開催</p> | | | | | |
| 活動指標 | 地域諸団体会議の開催 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 2回 | 3年後目標値 | 3回 | 6年後目標値 | 4回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域諸団体では、住民参加によりそれぞれ目的を持った活動が行われており、地域の様々な分野で行政の補完的役割を担っているため、新たな地域力を持った住民が参加する活動が期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地域諸団体の活動内容を自治会長・町内会長に紹介することで、地域活動への参加者数が増加して「自治会と様々な地域まちづくり活動が連携しているまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|-----|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 防災活動推進事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 2-4-34-07-9-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | 自治会・町内会等における自主防災組織において、その団体ごとの防災意識に大きな差異が見られており、地域全体での地域防災力の強化を進めるための支援が必要となっています。 現在活動している意識と意欲ある地域住民を主体として、防災活動を進めます。 1 自主防災ネットワークの構築 2 災害ボランティアネットワークサテライトの設立 3 新たな防災団体としての防災リーダー会の活動支援 | | | | | | |
| | 活動指標 | 防災リーダー会参加人数(累計) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 50人 | 3年後目標値 | 70人 | 6年後目標値 | 90人 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 市は、防災意識の高い住民による地域防災力の強化を図るため、防災協議会が中心となって、自治体・町内会等の組織間のコミュニケーションを円滑にするとともに、啓発活動を実施します。 | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | | | | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 湘南大庭地区内における防災意識は自治会・町内会により大きな差があるため、防災活動推進事業を進めることにより、「自治会と様々な地域まちづくり活動が連携しているまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|---|---------------------------|-----|--------|------|--------|------|
| 事業名 | 街路樹景観保全事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 2-5-35-08-10-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | まちと自然が調和している街路樹は、地域資源として重要であり、中央けやき通りのけやき並木は藤沢市景観ベストテンにも選定されています。 この地域資源としての景観を長く保全し、維持していくため、けやきを良好な状態に保つ景観保全事業を実施します。 1 地域住民及び関連地域団体からの意見収集 2 けやきの剪定 | | | | | | |
| | 活動指標 | けやき並木の景観整備率 | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | 100% |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 市は、地域住民の意見を聞きながら事業を推進します。 | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | | | | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地域のシンボルであるけやき並木の景観を保つことにより、地域への愛着を住民が持ち続けることが地区内全域の環境保護意識の啓発につながり、「住民参加で自然環境が守られているまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|---------------|--------|-----|--------|----|
| 事業名 | エコタウン化啓発事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-6-49-09-11-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 一人ひとりの小さなエコ活動から始まるエコタウンを実現するため、省エネやエコ対策などの講習会を開催し地域住民の意識の啓発を図るとともに、エコ商品の活用・転換の促進を図ります。 1 環境関連団体等との活動内容の調整 2 研修会・講習会の開催 | | | | | |
| 活動指標 | 啓発事業の実実施回数(年間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域での低炭素社会に向けた取り組みを進めるためには、地域住民一人ひとりのエコ活動が必要とされるため、その自主性を支援する取り組みを地域団体と市で進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地区内でエコ活動の啓発活動を進めることで、「人々の環境への意識が高く、快適なまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | ハイブリッド発電導入事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-6-49-09-11-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 地区内の公園は、地域の憩いの場であるとともに災害時の一時避難場所等にも利用されるため、園灯と園内の公衆トイレを改修して公園の省エネ化と災害時の照明確保と電力供給を図ります。 1 公園内に設置してある園灯のハイブリッド発電灯への転換 2 園内の公衆トイレへの太陽光発電装置の設置 | | | | | |
| 活動指標 | 省エネ園灯の設置数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0灯 | 3年後目標値 | 8灯 | 6年後目標値 | 20灯 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市は、公園利用者の意見を聞きながら、利用者視点に立った整備を進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | 検討・実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 公園という身近な場所にハイブリッド発電灯を導入し、地域住民の環境意識啓発を図ることで、「人々の環境への意識が高く、快適なまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|-----------|--------|------|--------|------|
| 事業名 | 地域のゴミゼロ運動推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-6-49-10-12-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>地域の環境美化活動として実施されている「ポイ捨て無くし隊」は、道路・公園のポイ捨てごみ(不法投棄ごみ)を多くのボランティアが清掃する事業です。</p> <p>この活動への参加者の拡充を図ることにより、ごみの落ちていない、きれいなまちの実現を図るとともに地域一体となった環境美化活動の推進を図ります。</p> <p>1 ポイ捨て無くし隊活動の拡充 2 美化ネット・公園愛護会との連携</p> | | | | | |
| 活動指標 | ボランティア清掃回数(年間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 143件 | 3年後目標値 | 165件 | 6年後目標値 | 180件 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域の環境美化活動としてのボランティア清掃や団体活動としてのポイ捨て無くし隊活動が積極的に行われています。市は、地域のゴミゼロ運動をさらに推進するため、地域住民が主体的な活動を継続実施できるような支援を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 期待される事業の成果 | 事業には小学生から高齢者まで幅広い年齢層が参加するため、年代を超えて、自分たちのまちの環境は自分たちで守るという意識の高揚が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|---------------|--------|------|--------|-----|
| 事業名 | 住まいの環境等調査研究事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 3-7-57-11-13-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>次世代の若い人が住みたいと思うような環境づくりについて、住まいの環境や生活利便性及び保育所の整備などの子育て環境等の条件について調査し、今後の「住みたい、住み続けたいまち湘南大庭」のまちづくりについて研究を行います。</p> <p>1 地域住民からの意見収集の実施 2 調査結果の分析と対策の検討</p> | | | | | |
| 活動指標 | 住まいの環境等調査の実施率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 住まいの環境等調査研究事業は、住みたい住み続けたいまちであるための住環境等の条件調査を実施するものであり、地域住民が生活者の視点で、市と連携し調査を行い、研究します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | | | |
| 期待される事業の成果 | 第2世代が湘南大庭地区に住まないことが課題となっている中で、その原因を調査し対応策を検討することで、「若い人が住みたい、住み続けたいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------------------|-----|--------|-----|--------|------|
| 事業名 | コミュニティサロン開設事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 3-8-71-12-14-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | 地区内の公共的施設としてその利用率が課題とされている市民の家、自治会館、小中学校の空き教室を活用して新たな地域コミュニティ活動の推進の場となるコミュニティサロンを開設します。 1 地区内公共施設の実態調査の実施 2 関連団体との調整 | | | | | | |
| | 活動指標 | コミュニティサロンの開設数(累計) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0か所 | 3年後目標値 | 4か所 | 6年後目標値 | 10か所 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域住民で構成される自治会・町内会や地域団体が主体的にコミュニティサロン開設事業に取り組むことで、地域住民への交流の場の提供と地区内の公共施設等の有効活用が図られることが期待されます。 | | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 施設の有効活用と身近な場所で気軽に参加することができる、新たなコミュニティの場の設置が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|--|---------------|-----|--------|------|--------|---|
| 事業名 | 二番構公園再整備事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 3-8-71-13-15-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | 二番構公園が持つ特性を活かし、地域の憩いの公園として、また、人々が交流できる場として整備を図ります。 1 地区内で唯一水辺のある公園として、水辺の再生・整備 2 誰でも利用できる公園として園内のバリアフリー化の整備 3 憩える公園としてサクラ・フジ・水辺のライトアップ事業の実施 | | | | | | |
| | 活動指標 | 憩いの公園への整備率 | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市は、地域住民と連携し意見を聞きながら、整備を進めます。 | | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 実施 | → | → | | | | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 計画的なまちづくりが行われた湘南大庭地区を象徴する公園として、二番構公園を再整備することにより、「地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|---|---------------|--------|-----|--------|-----|--|
| 事業名 | | 健康増進公園改修事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 3-8-71-13-15-2 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | <p>生き生き健康づくりのまちづくりを推進するため、日頃からの健康づくりを身近なところで行えるよう街区公園に健康遊具を設置し健康増進公園として整備します。</p> <p>1 公園愛護会・老人会等の関連団体との協議 2 大庭・滝の沢・駒寄・小糸の4地区に2公園ずつ8公園を整備</p> | | | | | | |
| 活動指標 | 健康遊具の設置公園数 | | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 1公園 | 3年後目標値 | 4公園 | 6年後目標値 | 8公園 | |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | | |
| 役割期待 | 市は、公園愛護会や老人会などの地域住民と連携し、整備を進めます。 | | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | | | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 身近にある公園を健康づくりに役立てる場として位置づけることにより、「地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|--|---------------|--------|------|--------|---|--|
| 事業名 | | 地域魅力発掘事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 3-9-76-14-16-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | <p>地域の歴史・文化をはじめとする地域魅力の発掘を図り、改訂版「ふるさとマップ」を作成し、広く地域魅力の発信を行います。</p> <p>1 実施団体の選定 2 地域資源の調査研究 3 改訂版「ふるさとマップ」の作成 4 湘南大庭地域指定文化財(独自)の指定を検討</p> | | | | | | |
| 活動指標 | 地域の魅力を発信するマップ作成進捗率 | | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — | |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | | |
| 役割期待 | 地域住民・地域団体が主体的に地域魅力発掘事業に取り組むことが期待されます。 | | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | 検討・実施 | 実施 | | | | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地域の名所、旧跡をあらためて調査、発掘することで地域の魅力を再認識し、「訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があるまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | | |

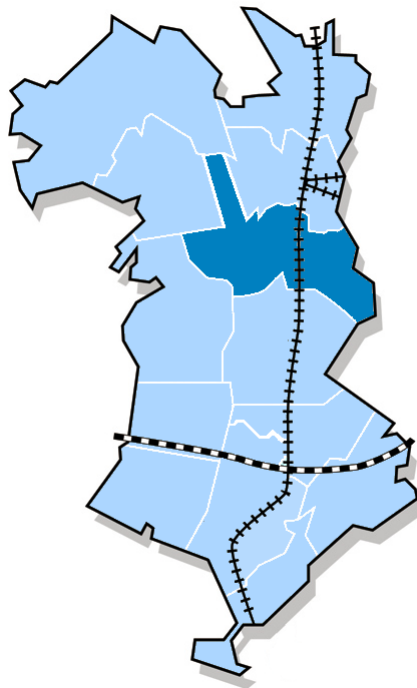
| | | | | | | |
|----------------|--|-----------|--------|------|--------|-----|
| 事業名 | 地域交通システム検討事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 3-9-76-15-17-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>公共交通システムとしてバス交通のみが唯一の手段である湘南大庭地区における、低炭素時代に応じた新交通システムの調査研究を行います。</p> <p>また、急激な高齢化の進展を考慮した移動に優しい交通システムについても調査研究を行います。</p> <p>1 新南北線推進事業との調整 2 バス交通支援事業との調整</p> | | | | | |
| 活動指標 | 新たな地域にあった交通システムの研究進捗率(提言) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域住民が生活者の視点で、現行の交通システムから次世代に向けた新たな交通システムへの転換、改善等を調査研究することが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | ----- | ----- | → | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | 提案 | | | |
| 期待される事業の成果 | 都心部に通勤していた年代層のリタイアによって必要とされる交通システムが変化してきています。現状を分析し将来にわたってこの地区に必要とされる交通システムを検討することにより、「訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部湘南大庭市民センター | | | | | |

藤沢市新総合計画

六会地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

素的なふるさと六会



地区のあらまし

1878年（明治11年）大小区制の廃止と郡区町村編成法の制定によって亀井野・石川・西俣野・円行・今田・下土棚による6ヶ村組合が設立され、1888年（明治21年）町村制の施行により六会村が誕生しました。以後約55年間、村政が維持され、1942年（昭和17年）に藤沢市と合併し、現在に至っています。

藤沢市に合併当時の六会村は、人口4,996人の農業中心の地区でした。しかし、昭和30年代の工場誘致などを機に北部開発、六会・石川東部土地区画整理事業の進捗と小田急湘南台駅開設に伴い急激に都市化が進みました。この間、1972年（昭和47年）に下土棚が長後地区に、平成元年に円行・今田の大部分が湘南台地区へ移行し、2010年（平成22年）12月1日現在、人口32,815人が住む自然に恵まれた宅地、農地共存の地域となりました。

地区の特色

六会地区は自然環境に恵まれて、俣野地区を中心に多くの山林が残っています。地区を挟むように流れる境川・引地川の川面やそこに流れを注ぐ一色川周辺の河津桜などの風景、そして地域の歴史も古く、様々ないわれを伝える名所旧跡など散策に適したところが多いです。



地区の南部には多くの農地があり、四季折々に新鮮な野菜や果樹が生産されており、地域に暮らす人々にとってまさに地産地消を実践できる所となっています。その農地の広がりや遠くに望む富士山や丹沢連峰の山並みは人々の安らぎになっています。

地域に生活する方々にとって、皆さんに親しまれている市民センターと自治会を中心に、暮らしの環境について考え、地区団体等と連携し活動を展開している事は大きな特色です。

また、子どもたちを育む所が多いことも挙げられます。幼稚園・保育園をはじめ大学までが点在し、県や市の教育に関する施設もあります。その様な環境から、学校では親だけでなく、地域との連携も図りながら、子どもたちを育む活動を活発に行っています。

六会地区地域経営会議

2009年（平成21年）の12月、自治会加入の全世帯、小・中・大学生などを対象に「まちづくりアンケート」を実施し、約4,300人の方から回答をいただきました。

アンケートでご指摘いただいた個別課題は、「今後の六会のまちづくり」に活用させていただきます。

これからも、地域の皆さんの声を大切に分野別の4つのまちづくり部会を中心に地域主体のまちづくりを進め、新たなまちづくりのテーマや課題には、既存部会とは別に検討部会を立ち上げる等柔軟に対応し、地域の課題解決と「素的なふるさと六会」の実現をめざします。

都市ビジョン1
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなが公共のマナーを守るまち

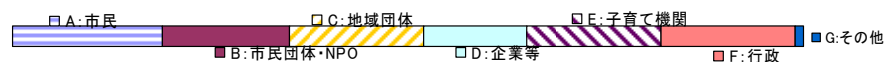
【成果指標】

①公共のマナーが守られていると感じている人の割合

【現状値】 ①22%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:17% D:13% E:17% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 迷惑行為撲滅活動の推進

<成果の視点> 地域から迷惑行為がなくなっていること

〔主要な指標〕 不法投棄件数

○実施事業 迷惑行為撲滅活動事業

《活動－2》 歩行者、自転車、車の通行ルール遵守活動の推進

<成果の視点> みんなが交通ルールを守り安全に移動できること

〔主要な指標〕 交通事故発生件数

○実施事業 人・自転車の事故を無くす活動事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

(関連未来課題 14)

【地域まちづくり目標】

02 子どもたちがのびのびと育っているまち

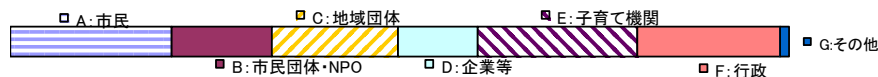
【成果指標】

①子どもたちがのびのびと育つ環境が整っていると感じている人の割合

【現状値】①31%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:21% B:13% C:16% D:10% E:20% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-3》 身近で安心して子どもを産み育てやすい環境づくりの推進

<成果の視点> 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること

〔主要な指標〕 保育ボランティア登録数

○実施事業 子育て教室充実事業

《活動-4》 子どもたちが安心して遊べる環境の充実

<成果の視点> 子どもたちが安全で安心して遊べる環境が整っていること

〔主要な指標〕 子どもたちがのびのびと育つ環境が整っていると感じている親世代の割合（30代～40代）

○実施事業 モデル公園提案事業

《活動-5》 子どもたちの個々の能力を引き出し、高める教育の充実

<成果の視点> 教育環境が充実していること

〔主要な指標〕 学校支援コーディネーター数

○実施事業 学校支援活動充実事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 すべての世代がいきいきと活躍しているまち

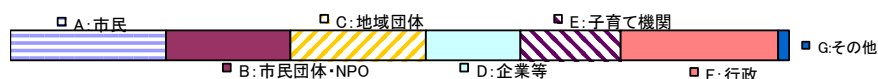
【成果指標】

①すべての世代がいきいきと活躍していると感じている人の割合

【現状値】①19%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①45%

【役割の担い手】①A:20% B:16% C:17% D:12% E:13% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 福祉に関するコミュニティビジネスの創出

＜成果の視点＞ 地域のコミュニティビジネスが充実していること

〔主要な指標〕 地区内雇用相談件数

○実施事業 福祉に関するコミュニティビジネス創出事業

《活動－7》 高齢者や障がい者がおられる家庭への支援の充実

＜成果の視点＞ 高齢者や障がい者の方が暮らしやすいと感じていること

〔主要な指標〕 地区内ニーズへの対応件数

○実施事業 高齢者や障がい者がおられる家庭への支援充実事業

《活動－8》 高齢者が活躍できる環境づくりの推進

＜成果の視点＞ 高齢者が持っている能力を活かし、活躍できる環境が整っていること

〔主要な指標〕 高齢者を対象にした地区内講座数

○実施事業 高齢者の地域活動推進事業

都市ビジョン2
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

(関連未来課題 24)

【地域まちづくり目標】

04 地域で支え合うあたたかいまち

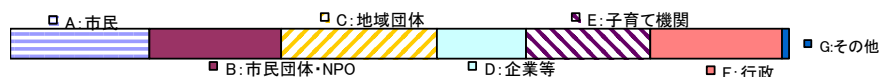
【成果指標】

①地域で支え合っていると感じている人の割合

【現状値】 ①28%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:20% D:11% E:16% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 地域の人たちの連帯感と信頼関係醸成活動の推進

＜成果の視点＞ 地域の人たちが信頼感を持って生活していること

〔主要な指標〕 地域の情報発信の頻度（媒体数や更新数）

○実施事業 地域活動の広報・宣伝活動の推進事業

《活動－10》 ボランティア活動の推進

<成果の視点> 地域でボランティアが育ち活発な活動が行われていること

〔主要な指標〕 ボランティアの活動件数

- 実施事業 ボランティアセンターの設立と組織化事業
まちづくりボランティアセンターの設立事業

《活動－11》 六会日大前駅周辺のにぎわいの創出

<成果の視点> 街のにぎわいがあふれていること

〔主要な指標〕 六会日大前駅商店街会員数

- 実施事業 六会日大前駅周辺まちおこし事業

《活動－12》 地域の目と声で創る防犯活動の推進

<成果の視点> 防犯パトロールや声かけで、犯罪のないまちにすること

〔主要な指標〕 防犯パトロール参加者数

- 実施事業 犯罪を減少させる活動事業

《活動－13》 ともに助け合う災害への備えの充実

<成果の視点> お互いに支え合う連帯と信頼関係の中で、災害への備えが
できていること

〔主要な指標〕 自主防災組織を保有する自治会数、地域で支え合っていると感
じている60代、70代の人の割合

- 実施事業 要援護者対策の活動事業
公園バリアフリー化提案事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

【地域まちづくり目標】

05 豊かな自然と文化を守り育てるまち

【成果指標】

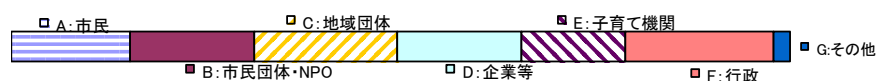
①自然が大切にされていると感じている人の割合

②文化が大切にされていると感じている人の割合

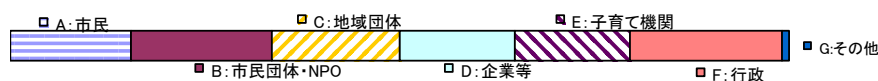
【現状値】 ①36% ②15%

【めざそう値】 3年後：①47.5% ②22.5% 6年後：①55% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:18% D:16% E:13% F:20% G:2%



②A:15% B:18% C:16% D:15% E:15% F:20% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 自然、景観の保全

＜成果の視点＞ 地域の自然環境や暮らしやすい街の景観が維持されていること

〔主要な指標〕 川のゴミ回収量

- 実施事業 引地川及び支流水質向上事業
- 引地川自然環境向上事業
- 石川丸山谷戸の保全事業

《活動－15》 文化的史跡の保全

＜成果の視点＞ 地域の伝統や文化が継承されていること

〔主要な指標〕 六会の指定文化財数

- 実施事業 六会の名所・旧跡保全事業
- 六会の伝統文化と歴史調査事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげていくことをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること

【地域まちづくり目標】

06 みんなでつくろう きれいなまち

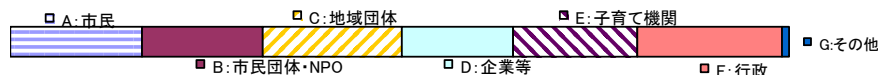
【成果指標】

①きれいなまちであると感じている人の割合

【現状値】 ①37%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:18% D:14% E:16% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 エコタウンむつあいの実現

＜成果の視点＞ エコ活動が地域全体で取り組まれていること

〔主要な指標〕 資源ゴミ排出量

- 実施事業 防犯灯LED化事業
- レジ袋削減事業

《活動－17》 住民による自主清掃活動の推進

<成果の視点> みんなが地域の環境に関心を持ち自ら行動していること

〔主要な指標〕 地域清掃活動参加者数

○実施事業 地域清掃活動推進事業

《活動－18》 地域の美化活動の推進

<成果の視点> 緑や花などによって街並みがきれいであること

〔主要な指標〕 美化活動参加人数

○実施事業 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

07 生活しやすい交通環境ができています

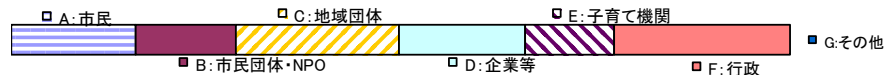
【成果指標】

- ①誰にも歩きやすい道路であると感じている人の割合
- ②道路や踏切が、通行するのに危ないと感じている人の割合
- ③道路や交通機関など、外出しやすい環境が整っていると感じている人の割合

【現状値】①21% ②55% ③35%

【めざそう値】3年後:①30% ②47.5% ③40% 6年後:①50% ②37.5% ③47.5%

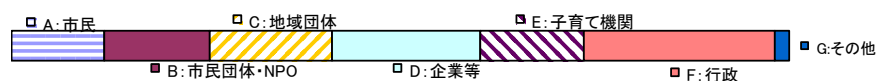
【役割の担い手】①A:16% B:13% C:21% D:16% E:11% F:23% G:0%



②A:13% B:10% C:20% D:16% E:15% F:26% G:0%



③A:12% B:14% C:16% D:19% E:14% F:23% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－19》 高齢者，障がい者も安心して通行できる交通環境づくりの推進

<成果の視点> 誰もが安心して移動できる街であること

[主要な指標] 歩きやすい道路であると感じている60歳以上の人の割合

○実施事業 **バリアフリー化支援活動事業**

《活動－20》 交通の利便性と安全性の充実

<成果の視点> 誰もが安全に移動できヒヤリハットがない街であること

[主要な指標] 交通事故発生件数

○実施事業 **踏み切り安全対策事業**

交通不便地区解消検討事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに，公共施設の集約・移転等により生じる跡地，施設の有効活用，地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには，公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて，既存施設の保全，再構築，機能更新など，社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて，市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

08 市民センターによる効率的なサービス提供がされるまち

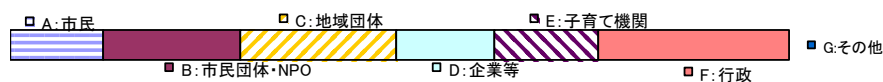
【成果指標】

①多機能な市民センターを身近に感じている人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:12% B:18% C:20% D:13% E:13% F:24% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－21》 市民センターを中心とした多機能化の推進

<成果の視点> 地域の人たちの意見が建て替え計画に十分反映されていること

[主要な指標] 市民センターの利用者数

○実施事業 **市民センター多機能化事業**

《活動－22》 公共資産の有効活用の推進

<成果の視点> 公共施設などが地域の人たちに十分活用されていること

[主要な指標] 市民の家稼働率

○実施事業 **公共施設の有効活用事業**

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

ふじさわ未来課題

79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること

【地域まちづくり目標】

09 住んでいることを自慢できるまち

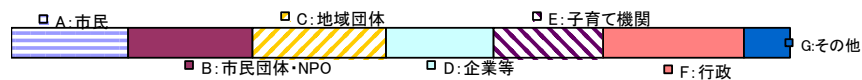
【成果指標】

①六会を自慢できる人の割合

【現状値】 ①52%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:17% D:14% E:14% F:18% G:6%



《地域まちづくり活動》

《活動-23》 地域活動情報受発信の充実

<成果の視点> 誰もが容易に地域の情報を受発信できること

〔主要な指標〕 地区ポータルサイトPV数（ページビュー数）

○実施事業 地区ポータルサイトの受発信の充実事業

《活動-24》 地区内団体との連携をベースにした地域経営会議の充実

<成果の視点> 誰もが住み続けたいと思う地域であること

〔主要な指標〕 地域経営会議との連携団体数

○実施事業 地区内団体との連携事業

| | | | | | | |
|-----------------------|--|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 迷惑行為撲滅活動事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-1-7-01-1-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>自転車の運転・駐輪・ペットの飼育・ゴミ処理などの公共のマナーが守られていないことが、様々な迷惑行為となって市民生活に支障となっているため、生活環境協議会と協議し、地域市民が一体となったパトロールの実施等の具体的な迷惑行為撲滅活動を検討、実施します。</p> <p>1 迷惑行為撲滅活動の検討 2 地域市民が一体となったパトロール等の取り組みの検討</p> | | | | | |
| 活動指標 | 公共マナーの意識改善率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 22% | 3年後目標値 | 35% | 6年後目標値 | 50% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民一人ひとりが担い手となり、地域が一体となって日常生活のマナーの遵守を呼びかける活動であることから、市民・地域・行政が連携して進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | -----> | | → | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地域市民が一体となったパトロール等の取り組みを推進することにより、「みんなが公共のマナーを守るまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------|--------|------|--------|-----|
| 事業名 人・自転車の事故を無くす活動事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-1-7-01-2-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>バリアフリー化にあわせ、人・自転車の事故を無くす活動について、交通安全対策協議会とその活動計画を協議し、同協議会主導で活動を進め、地域経営会議が協力して活動を推進します。</p> <p>1 人・自転車の事故を無くす活動の推進</p> | | | | | |
| 活動指標 | 交通事故件数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 126件 | 3年後目標値 | 111件 | 6年後目標値 | 96件 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民と市、交通安全対策協議会が連携して事業を進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | -----> | | → | | | |
| | 検討 | 計画 | 実施 | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 交通事故を無くす活動の推進により、「みんなが公共のマナーを守るまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|---|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 子育て教室充実事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-9-02-3-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>未就学児を持つ親の不安を解消するために、未就学児を持つ親を対象にした「子育て教室」の充実や、公共施設を利用した保育所の設置を検討します。</p> <p>また、事業の担い手である保育ボランティアの育成や人材バンクへの登録制度の創設も検討します。</p> <p>1 子育て教室の充実 2 公共施設を利用した保育所の設置検討 3 保育ボランティアの育成と人材バンク登録制度の検討</p> | | | | | |
| 活動指標 | 保育ボランティア数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 12人 | 3年後目標値 | 30人 | 6年後目標値 | 50人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民と地域が協力し、市と連携しながら事業を進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 市では、待機児童が年々増加しています。六会地区では待機児童数0を目標に活動を展開することで、すべての親が子どもを身近で安心してのびのびと育てられる環境づくり体制の整備が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|---|-----------------------|--------|-------|--------|-----|
| 事業名 | モデル公園提案事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-2-9-02-4-1 | 地域分権区分 | 地域で考え全市で実施する事業(地域→全市) | | | | |
| 事業内容 | <p>地区内には28の公園があります。立地条件・規模・利用者の現状等それぞれ特徴がありますが、子どもから大人まで安心して遊べる公園等について、地域の要望(自治会・町内会、公園愛護会連絡協議会等)も踏まえ多方面から検討し、地域の特徴を活かして全世代が利用しやすい公園を提案します。</p> <p>1 地区内の公園に関するニーズ調査の実施 2 日本大学生物資源科学部などとの協働によるモデル公園のコンセプト、イメージ等の検討 3 モデル公園の設計</p> | | | | | |
| 活動指標 | 28公園の提案書提出率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 30% | 6年後目標値 | 60% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 一般利用者(市民)や自治会(市民団体)及び公園愛護会(市民ボランティア)等関連する主体が連携して進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | → | 提案 | 検討・提案 | → | → |
| (市域全体) | | | 検討 | 計画・実施 | → | → |
| 期待される事業の成果 | 全世代が利用しやすい理想に近い公園像を提案することにより、子育て環境の充実が図られるとともに、地域の安らぎやコミュニケーションの空間が創設され、「子どもたちがのびのびと育っているまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|--|-----|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 学校支援活動充実事業 | | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 1-2-9-02-5-1 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | | |
| 事業内容 | 「学校支援コーディネーター」と共に、地域全体で子どもの「育ち」や「学び」を支援する体制を整備します。また人材バンクの設置や学園都市むつあい協力者会議(三者連携)との連携を進めます。 1 地域で子どもたちの「育ち」「学び」を支援するための人材確保体制(人材バンク)の検討・設置 2 学園都市むつあい協力者会議(三者連携)との連携による事業実施 3 学校・家庭・地域の連携体制の一層の強化 | | | | | | |
| | 活動指標 | 教育等の人材バンクの登録者数(累計) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 35人 | 6年後目標値 | 70人 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 既に三者連携事業等で関係機関の協力が得られているため、引き続き、学校・家庭・地域が連携して事業を実施します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | → | | | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| (地域) | | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| 期待される事業の成果 | 学校支援活動の充実により、地域ぐるみで子どもたちを育てる環境・風土が形成され、「子どもたちがのびのびと育っているまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------------------|--|---|-----|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 福祉に関するコミュニティビジネス創出事業 | | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 1-3-23-03-6-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | 医療・介護・福祉に関する地域の課題を地域の資源(人材、施設等)を活用し、地域住民自らが主体となって有償ボランティアを含むビジネスの手法を用いて課題の解決に取り組みます。運営に当たっては、提供した商品・サービスの「対価・報酬」を得て活動し、組織の維持・継続性を保ち、地域の活性化にもつながる事業を創出します。 具体的には、有償運送や介護保険事業・障がい福祉サービス事業などで、2011年度(平成23年度)上期に対象とする候補事業名の抽出を行います。 1 福祉に関するコミュニティ・ビジネスの検討 2 事業の採算性、資金体制等のシミュレーション 3 ビジネスモデルの事業化 | | | | | | |
| | 活動指標 | コミュニティビジネスの雇用者数(累計) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 5人 | 6年後目標値 | 10人 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 市が適切な情報を提供し、支援することにより、NPOや市民が積極的にコミュニティビジネスを行える環境づくりを担うことが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | → | | | | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → | |
| (地域) | | | | | | | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 福祉に関するコミュニティビジネスの創出は雇用等の地域経済に好影響をもたらすなど地域の活性化につながり、「すべての世代がいきいきと活躍しているまち」の実現に寄与します。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|---------------|--------|-----|--------|------|
| 事業名 | 高齢者や障がい者がおられる家庭への支援充実事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 1-3-23-03-7-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 理容美容出張サービスや希望に応じた食事の配達など、高齢者、障がい者がおられる家庭の家事、介護、環境改善、自立などの支援の充実を図ります。2011年度(平成23年度)上期に対象とする候補事業名を抽出します。 1 地域での独自支援メニューの検討 2 事業化検討 | | | | | |
| 活動指標 | サービス利用者数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 50人 | 6年後目標値 | 200人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民ボランティアと地区社会福祉協議会が主体となって事業を担い、市は地域への理解促進を市民ボランティア等と連携して行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 老老介護などの課題に対して、日常生活の負担の軽減と人とのコミュニケーションの機会の拡充を図ることにより、「すべての世代がいきいきと活躍しているまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|-----------------------|--------|----------|--------|----------|
| 事業名 | 高齢者の地域活動推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 1-3-23-03-8-1 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | |
| 事業内容 | 高齢者の知識や経験を地域へ役立てるため、人材バンクへの登録や講座の講師として活躍できる環境づくりを行います。 また、公民館の出張講座などにより、地域活動への参加機会を拡大します。 1 高齢者が地域活動をしやすい環境づくり 2 人材バンクの登録や登録者の懇話会等の検討 | | | | | |
| 活動指標 | ①シニア講座数(累計) ②シニアボランティアの登録者数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | ①17回②0人 | 3年後目標値 | ①30回②40人 | 6年後目標値 | ①40回②80人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 高齢者が地域で元気に活躍する場を提供するため、市は地域市民と連携し、その主要な場の提供を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| 期待される事業の成果 | 高齢者が地域で元気に活躍するための環境づくりを進めるとともに、高齢者の経験や資産を社会に還元することにより「すべての世代がいきいきと活躍しているまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|--|---------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 地域活動の広報・宣伝活動の推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-34-04-9-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 自治会活動へのさらなる参加拡大をめざし、身近な防犯・防災情報に加え、自治会活動を紹介する情報を掲載した冊子を作成し、地域の連帯感や信頼関係の強化につなげられるよう、六会地区の転入者等に配付します。 1 地域での防犯, 防災, 自治会活動をはじめとする公共的な生活情報の収集 2 情報冊子の作成 | | | | | |
| 活動指標 | 自治会への加入率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 76% | 3年後目標値 | 80% | 6年後目標値 | 85% |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 市民, 自治会(市民団体), 市が相互に連携して事業を進めます。特に市民の視点で必要な情報と地域コミュニティへの参加がしやすくなるような情報の掲載を進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地域活動の広報・宣伝活動の推進により、地域コミュニティへの参加を促進し、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|---------------|--------|-----|--------|------|
| 事業名 | ボランティアセンターの設立と組織化事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-34-04-10-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 高齢者、障がい者等の家事支援、生活支援、生きがいをづくりの支援等を行うボランティアセンターを設立し、運営に当たっては、ボランティアの担い手(支援者)と受ける人(利用者)また賛助者を組織化します。 また、ボランティアセンターでは、その事業のひとつとしてボランティアの育成を行います。 1 地区ボランティアセンターの設立・運営 2 ボランティアの育成 | | | | | |
| 活動指標 | ボランティア登録数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 13人 | 3年後目標値 | 50人 | 6年後目標値 | 100人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 超高齢社会を間近に控えて、高齢者や障がい者及びその家族の多岐にわたるニーズへの対応の必要性は、福祉団体や地域ボランティアに浸透しており、市はセンター設立において、それらの主体と連携しながら実施する役割を担います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | | | | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | ボランティアセンターの設立と組織化により、地域福祉の向上が図られるとともに、地域での共助・互助が促進され、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|---------------|--------|------|--------|------|
| 事業名 | まちづくりボランティアセンターの設立事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-34-04-10-2 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>ボランティアセンター(福祉関係)を含む、教育・生涯学習・子育て・登下校見守り・夜間パトロール・防災・防犯・公園美化・街の清掃・あいさつ声かけ運動などを包括する「まちづくりボランティアセンター」を設立します。</p> <p>1 まちづくりボランティアセンターの設立 2 まちづくりへの市民参加の意識向上策の実施 3 地域での様々なニーズへの対応やボランティア確保に関する手法の検討</p> | | | | | |
| 活動指標 | ボランティア登録数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0人 | 3年後目標値 | 500人 | 6年後目標値 | 800人 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | まちづくりボランティアセンターの必要性については地域団体や市民ボランティアなどに認識の共有が進んでおり、市はそれらの主体と連携しながら実施していく役割を担います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | -----> | | ▶ | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | まちづくりボランティアセンターの設立により、地域まちづくりへの市民意識の向上が図られるとともに、まちづくりに多くの地域市民が携わる「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|-----------------------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 六会日大前駅周辺まちおこし事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-34-04-11-1 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | |
| 事業内容 | <p>六会に住む住民の多くは、娯楽や買い物をする際に、利便性が高い湘南台や藤沢に行く傾向があります。この現象に歯止めをかけ、まちの活性化につなげるために、六会日大前駅周辺のにぎわいを創出する事業を実施します。</p> <p>具体的には、魅力あるイベント等を開催することで地域活性化の起爆剤とし、第2段階として様々なまちづくり事業を展開します。</p> <p>1 六会日大前駅周辺やわいわい市藤沢店など地域のにぎわい分析 2 人の賑わいをまちのにぎわいに変える魅力創出のための動向調査 3 イベントの実施と実施評価による再構築</p> | | | | | |
| 活動指標 | イベント開催数(年間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 1回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域の学生、市民団体、行政が連携して事業を実施します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | -----> | | ▶ | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| (市域全体) | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| 期待される事業の成果 | 六会日大前駅周辺のにぎわいの創出は、地域経済に良い影響を与えるだけでなく、地域でのコミュニティ形成のきっかけとなり、地域で支え合う温かいまちづくりの推進が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|---------------|--------|------|--------|------|
| 事業名 | 犯罪を減少させる活動事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 2-4-34-04-12-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 防犯協会に活動の維持・拡大を依頼し、活動の円滑化を支援します。警察に情報の発信を依頼し、地域への周知方法を確立します。 1 地区防犯協会等による活動の推進 2 防犯活動の円滑化への支援 3 犯罪情報と犯罪抑止策の地域での共有を警察に依頼 | | | | | |
| 活動指標 | 犯罪件数(年間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 622件 | 3年後目標値 | 591件 | 6年後目標値 | 560件 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 防犯パトロールは市民活動として地域に根付いており、行政と市民活動団体との連携により事業を進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | → | 実施 | → | → |
| 期待される事業の成果 | 地域ぐるみでの防犯活動を推進することにより「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|-----------|--------|-------|--------|-------|
| 事業名 | 要援護者対策の活動事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-4-34-04-13-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 災害が発生したときは、自助(自分のことは自分で守る)と共助(共に互いに助け合う)が重要になります。自治会連合会及び防災リーダー連絡会と協議して要援護者対策を実施します。 1 未設自治会に対し自主防災組織の設立に向けた依頼 2 全自治会において、要援護者対策の確立を依頼 3 地区全体の防災計画の検討 | | | | | |
| 活動指標 | 要援護者の対策策定済自治会数(全 37自治会) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0自治会 | 3年後目標値 | 20自治会 | 6年後目標値 | 37自治会 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 人命に関わる事業であり、自治会町内会の関心も強いことから、自治会を中心に市民一人ひとりへの関心の輪を広げるとともに、市は制度面で支援を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| (市域全体) | 実施 | → | → | → | → | → |
| 期待される事業の成果 | 日頃からの地域のつながりを促進し、助け合う環境をつくることにより、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|---|--|----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 公園バリアフリー化提案事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 2-4-34-04-13-2 | 地域分権区分 | 地域で考え全市で実施する事業(地域→全市) | | | | | |
| 事業内容 | 災害時、一時避難所に指定されている公園に要援護者や障がい者が安全に避難できるように、公園出入口の段差解消などバリアフリー化事業を提案します。 1 公園一部出入口の段差解消の提案 | | | | | | |
| | 活動指標 | 全28公園のバリアフリー化整備率 | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 10%(3か所) | 3年後目標値 | 30% | 6年後目標値 | 60% |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 地域住民と施設管理団体等と協力し事業を進め、制度的側面で行政が連携して体制づくりを行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | → | 提案 | 計画・実施 | → | → | |
| (市域全体) | | | 検討 | 計画・実施 | → | → | |
| 期待される事業の成果 | 公園での地域コミュニティと災害時の共助による援護体制を強化することにより、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|---|--------------------------------|-----|--------|-----|--------|----|
| 事業名 | 引地川及び支流水質向上事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | | |
| 2-5-37-05-14-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | 六会地区を流れる引地川やその支流において、行政・NPO・ボランティア団体が協働して産業排水、生活排水の改善やゴミの不法投棄対策に取り組む活動を支援します。 1 産業排水、生活排水の改善に向けた啓発活動の実施 2 ゴミの不法投棄対策と引地川清掃活動 | | | | | | |
| | 活動指標 | 引地川清掃活動回数(年間) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 市・NPO団体・ボランティア団体が協働して事業を実施します。 | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地域の中の自然環境の保全を図ることにより、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|-----------------------|--------|-------|--------|-----|
| 事業名 | 引地川自然環境向上事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-5-37-05-14-2 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | |
| 事業内容 | 円行新橋から引地川親水公園までの引地川沿いに、緑道をつくる等、憩いの空間として活用できるよう提案します。 1 地域ニーズの把握を目的とした調査・分析 2 空間に求められる要素、機能の検討 3 市及び関係機関への提案 | | | | | |
| 活動指標 | 引地川沿いの活用提案実施率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域経営会議は、市民団体と協力しながら、引地川の自然環境の向上を図る役割を担います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | → | 提案 | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | 計画 | 計画・実施 | → | → |
| 期待される事業の成果 | 引地川の自然環境が向上することにより、地域の自然と人との調和や豊かな心を育む環境を創出し、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|-----------|--------|-----|--------|-----|
| 事業名 | 石川丸山谷戸の保全事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 2-5-37-05-14-3 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 石川丸山谷戸の植物、生物の保全やゴミの不法投棄防止活動の支援を行います。 1 石川丸山谷戸保全活動の推進への協力・支援 2 身近な自然環境としての石川丸山谷戸の地域への紹介 | | | | | |
| 活動指標 | ゴミの不法投棄防止活動数(年間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0回 | 3年後目標値 | 1回 | 6年後目標値 | 1回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域経営会議は、市民団体と協力しながら、谷戸の保全活動を行う役割を担います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 石川丸山谷戸の植物、生物の保全やゴミの不法投棄防止活動の支援を行うことにより、地域の自然に目を向け、環境への配慮などへの意識を高め、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|---|---|-----|--------|-----|--------|------|
| 事業名 | 六会の名所・旧跡保全事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | | |
| 2-5-37-05-15-1 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | | |
| 事業内容 | 六会地区の名所・旧跡の現状を調査し、案内板の整備や維持管理の体制づくりを行います。 1 地区内の史跡・旧跡の現状調査 2 新たな地域資源となる名所等の調査 3 名所・史跡・旧跡の案内板等の作成 4 名所・史跡・旧跡の維持保存体制の検討 | | | | | | |
| | 活動指標 | 案内板整備率 | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 50% | 6年後目標値 | 100% |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 地域経営会議は、市民団体と協力しながら、六会の名所・旧跡の保全活動に向けた事業を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | -----> | -----> | | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| (地域) | | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| 期待される事業の成果 | 案内板を整備することは、地域市民が六会の名所旧跡を再認識することにつながるとともに、地域の歴史を見直し地域を知ることによって地域への愛着を高め、豊かな地域の資源・財産を継承・発展させるまちの実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|--|----------------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 事業名 | 六会の伝統文化と歴史調査事業 | | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | | |
| 2-5-37-05-15-2 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | | |
| 事業内容 | 六会地区に伝わる民話、伝統芸能、伝統ものづくりを調査し、冊子にまとめて伝承します。また、六会地区の歴史を調査して、六会地区歴史年表を作成します。 1 地区に伝承する民話、芸能、ものづくりの調査 2 地区の歴史調査 3 調査結果のまとめとしての冊子、年表の刊行 | | | | | | |
| | 活動指標 | 伝統文化冊子刊行状況 | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 未刊行 | 3年後目標値 | 伝統文化刊行 | 6年後目標値 | 歴史年表作成 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 地域経営会議は、市民、行政、市民団体が連携して事業を実施します。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | -----> | -----> | | | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| (地域) | | | | | | | |
| (市域全体) | 検討 | 実施 | → | → | → | → | |
| 期待される事業の成果 | 地域に伝承される民話、芸能等を知ることにより、地域への愛着を高め、次世代に伝えることにより、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|--|-----------------------|-----|--------|-----|--------|------|
| 事業名 | | 防犯灯LED化事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 2-6-47-06-16-1 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | | |
| 事業内容 | <p>地域の目と声で犯罪を抑止しようと防犯パトロール等を実施していますが、さらに、地域活動を発展させるため、防犯灯のLED化事業を行い照明効率・光度のアップを図り、地域の目による犯罪抑止をめざします。あわせて、省電力化によるエコタウン化を図ります。</p> <p>2015年(平成27年)を目途に日本照明器具工業協会が行う規格統一や低価格化の状況を踏まえ、事業化を図ります。</p> <p>1 防犯灯のLED化による地域防犯力の向上と環境配慮の促進 2 LED照明に関する情報収集と自治会・町内会への情報提供</p> | | | | | | |
| | 活動指標 | 防犯灯LED化数(累計) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 0灯 | 3年後目標値 | 0灯 | 6年後目標値 | 250灯 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 防犯活動に対する地域の関心は高く、防犯灯がLED化されることで、自治会の負担が軽減され、環境意識が高まることから、市はこの事業の普及に向けた地域活動の支援を行います。 | | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | → | → | 検討・実施 | → | → | |
| (地域) | -----> | | | -----> | | | |
| (市域全体) | | | | 検討・実施 | → | → | |
| 期待される事業の成果 | 地域防犯の意識啓発を図るとともに、低コストと省電力化によるエコタウンむつあいの実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|---|-------------|----------|--------|------|--------|-------|
| 事業名 | | レジ袋削減事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | | |
| 2-6-47-06-16-2 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | <p>レジ袋の削減策は大手スーパー等では進みつつありますが、商店等では進みにくい現状があります。このため、消費者の意識の高まりによる、消費者先行型の取り組みを進めることにより、地域におけるレジ袋削減の推進が一層図られます。</p> <p>地区内企業や商店と連携し、エコバックの活用とレジ袋の削減に向けた活動を行います。リサイクルの促進やゴミ減量への意識啓発を進めます。</p> <p>1 エコバックの活用推進 2 レジ袋削減に向けた活動の推進</p> | | | | | | |
| | 活動指標 | レジ袋の使用量の削減率 | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 基準(100%) | 3年後目標値 | 5%削減 | 6年後目標値 | 10%削減 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域経営会議は、生活環境協議会と協働し、地区内企業・商店と連携して事業を行います。 | | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | 検討・実施 | 実施 | → | → | → | |
| (地域) | -----> | | | -----> | | | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | ゴミの削減は市民一人ひとりの意識が変わらないと達成出来ない課題であり、地域全体で取り組むことにより、環境にやさしいまちづくりの実現に寄与します。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|--|---|------|--------|-------|--------|-------|
| 事業名 | | 地域清掃活動推進事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 2-6-47-06-17-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | 自治会・町内会が主体になって行う、きれいなまちづくりをするために、定期的な地域清掃活動を定着させるとともに、近隣の人が共同で作業することで、地域のコミュニケーション(あいさつや声かけ)や連帯感を深めます。 清掃活動の内容としては、公共の場のゴミひろい・公共の場の雑草取り・公共の場からゴミ箱の撤去とゴミを持ち帰る習慣の推進と集合住宅のゴミ出し改善を行います。 1 定期的な清掃活動の推進 2 環境美化とゴミ減量化の推進 | | | | | | |
| | 活動指標 | 自主清掃実施自治会数(累計) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 5自治会 | 3年後目標値 | 10自治会 | 6年後目標値 | 25自治会 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | ゴミ減量と資源化に向け、自治会・町内会への啓発活動を実施するとともに、市は、市民、地域団体等と協働し、環境美化を進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 検討 | → | 実施 | → | → | → | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 自治会・町内会が主体になって、地域清掃活動を定期的実施することは、まちの美観形成に役立つだけでなく、地域のコミュニケーションや連帯意識を深めることに寄与します。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|------|--------|------|--------|------|
| 事業名 | | 花の植栽活動による美しいまちづくり事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 2-6-47-06-18-1 | 地域分権区分 | | | | | | |
| 事業内容 | 地区内の公園・小中学校・保育園・幼稚園・老人ホーム・養護学校等で花の植栽活動の支援を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進めます。 また、「庭自慢・植栽活動花自慢フォトコンテスト」を行い、美しいまちづくりの啓発活動を進めます。 1 花の植栽による景観性の向上の推進 2 「庭自慢・植栽活動花自慢フォト・コンテスト」の開催 | | | | | | |
| | 活動指標 | 花の植栽活動を行う団体数(累計) | | | | | |
| | 目標値 | 現状値 | 20団体 | 3年後目標値 | 30団体 | 6年後目標値 | 30団体 |
| | 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| | 役割期待 | 花の植栽活動は老若男女の誰もが参加できる地域ふれあい事業であり、ボランティアを中心に地域市民が一体となって進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール (地域) | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → | |
| (市域全体) | | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地区の美化活動を推進することにより、美しいまち六会の景観形成に寄与します。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|--------|---|--------|-----|--------|------|-----|
| 事業名 | | バリアフリー化支援活動事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | | |
| 3-7-65-07-19-1 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | | |
| 事業内容 | | <p>市のバリアフリー化計画(六会日大前駅周辺道路)にあわせ、高齢者、障がい者も安心して通行できる、道路環境づくりの具体策を検討し、市との連携により具現化します。</p> <p>1 バリアフリー化が必要な箇所の点検・取りまとめ 2 バリアフリー化計画の進捗と計画内容に関する情報共有、協議 3 地域ニーズの把握と市への意見提案</p> | | | | | |
| 活動指標 | | 六会日大前駅周辺バリアフリー化進捗率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 50% | 6年後目標値 | 100% | |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | | |
| | | | | | | | |
| 役割期待 | | 市が中心となり、地域経営会議が地域市民の声を聞きながら、地域と連携・協働して進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | | | | | | | |
| (市域全体) | 計画 | 実施 | → | → | | | |
| 期待される事業の成果 | | 地域のニーズに合ったバリアフリー化事業を推進することにより、生活しやすい交通環境が形成されます。 | | | | | |
| 担当部課 | | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|--------|---|--------|------|--------|-----|-----|
| 事業名 | | 踏み切り安全対策事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | | |
| 3-7-65-07-20-1 | 地域分権区分 | 地域で考え全市で実施する事業(地域→全市) | | | | | |
| 事業内容 | | <p>六会日大前駅南側踏み切りの問題は、地区の長年の課題です。踏み切りの安全対策について具体的な改造提案をして課題解決を図ります。</p> <p>1 地域での課題、要望等についての取りまとめ 2 踏み切りの安全対策及び道路改良等についての市への提案</p> | | | | | |
| 活動指標 | | 踏切安全対策検討提案進捗率 | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — | |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | | |
| | | | | | | | |
| 役割期待 | | 地域市民と市が連携し進めます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | | |
| | | | | | | | |
| (市域全体) | | → | 計画・提案 | → | | | |
| 期待される事業の成果 | | 安全な交通環境を確保し駅東西の交流を促進することで「生活しやすい交通環境ができているまち」の実現に寄与します。 | | | | | |
| 担当部課 | | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|--|-----------------------|--------|-----|--------|-----|--|
| 事業名 | | 交通不便地区解消検討事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | | |
| 3-7-65-07-20-2 | 地域分権区分 | 地域と全市が連携して行う事業(地域+全市) | | | | | |
| 事業内容 | <p>六会地区には西俣野地区などバスなどの公共交通機関がなく、駅に出るのに徒歩での移動手段しか無い交通不便地区があり、地域での移動の課題となっています。</p> <p>高齢社会に対応し、高齢者等が特に駅、病院等に容易に出掛けられるよう、新たな交通手段の検討を進めます。</p> <p>1 地域ニーズの把握と適切な手段とルート の検討</p> | | | | | | |
| 活動指標 | 交通不便地区解消提案数(累計) | | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0件 | 3年後目標値 | 10件 | 6年後目標値 | 20件 | |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | | |
| 役割期待 | 企業と市の役割だけでなく、適切にニーズを伝え、事業の担い手の可能性について多角的な検討するなど、地域での役割が期待されます。 | | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | 提案 | 実施 | → | → | |
| 期待される事業の成果 | 交通不便地区解消により、地区内の移動を円滑化し「生活しやすい交通環境ができていくまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|--|-----------------------|--------|------|--------|-----|--|
| 事業名 | | 市民センター多機能化事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | | |
| 3-8-71-08-21-1 | 地域分権区分 | 地域で考え全市で実施する事業(地域→全市) | | | | | |
| 事業内容 | <p>六会市民センターの改築にあわせ、これまでの市の出先機関から地域主体のまちづくりの拠点施設として、地域の特性やニーズに対応できる機能をあわせ持つ多機能な市民センターを検討します。</p> <p>1 地域住民が合意する建設場所 2 地域住民の意向に基づく、必要な施設設備の機能と規模 3 施設設備の整備・運営に関する公民連携等の事業手法 4 石川分館も含めた市民センター機能の充実策</p> | | | | | | |
| 活動指標 | 市民センターの多機能化提案進捗率 | | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 0% | 3年後目標値 | 100% | 6年後目標値 | — | |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | | |
| 役割期待 | 地域経営会議を中心に地域で考え、地域でまとめた考え方にに基づき、市が整備を進めます。 | | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | | |
| (市域全体) | 検討 | → | 実施 | → | | | |
| 期待される事業の成果 | 多機能な市民センターを検討することにより、必要となる施設設備が機能的に設置され、「市民センターによる効率的なサービス提供がされるまち」の実現が図られます。 | | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|-----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 事業名 | | 公共施設の有効活用事業 | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 3-8-71-08-22-1 | 地域分権区分 | 地域で考え全市で実施する事業(地域→全市) | | | | |
| 事業内容 | <p>2011年度(23年度)～2013年度(25年度)は市民の家の利用率向上、転用、撤去を含めた有効活用について検討します。</p> <p>2014年度(26年度)以降は市民の家以外の他の公共施設の有効活用を検討します。</p> <p>1 市民の家の利用状況と必要とされる機能の提案</p> <p>2 その他公共施設の有効活用の検討</p> | | | | | |
| 活動指標 | 市民の家・多機能化提案状況(公共施設有効活用提案) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | なし | 3年後目標値 | 市民の家提案 | 6年後目標値 | 他の施設提案 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 利用者(地域団体・市民)の受益に直接影響するものであり、市民団体と市が協働して、検討と実施の役割を担います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | → | 提案 | 検討・提案 | → | → |
| (市域全体) | | | | 実施 | | |
| 期待される事業の成果 | 様々な意見に基づく調査検討を踏まえることにより、公共施設がより有効に活用され、効果的、効率的に市民が望むサービスが提供されます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|---|--------------------|--------|------|--------|------|
| 事業名 | | 地区ポータルサイトの受発信の充実事業 | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり行政事業(地域) | | | | |
| 3-9-79-09-23-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | <p>六会地区地域経営会議をはじめ地域団体では、地域情報や活動状況を広く市民に公開するためのホームページ作りを進めます。</p> <p>これらのホームページの情報を各団体で組織する運営委員会が、ポータルサイトとして、管理運営することで、情報提供者と利用者の双方にとって利便性が高い情報受発信手段として充実を図ります。</p> <p>1 地域ポータルサイトの構築</p> <p>2 地域市民にとって有用なコンテンツの発信</p> | | | | | |
| 活動指標 | 地域ポータルサイトの参加団体数(累計) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 10団体 | 3年後目標値 | 30団体 | 6年後目標値 | 50団体 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地域情報や行政情報等が地域のニーズにあって提供されるよう、地域団体を中心に様々な主体が連携して情報発信を行います。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 実施 | → | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 生活情報が簡単に入手できるようになり、新たな地域文化やコミュニティが創生され、「住んでいることを自慢できるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |

| | | | | | | |
|----------------|--|-----------|--------|-----|--------|----|
| 事業名 | 地区内団体との連携事業 | | | | | |
| 体系コード | 事業区分 | まちづくり地域事業 | | | | |
| 3-9-79-09-24-1 | 地域分権区分 | | | | | |
| 事業内容 | 地域のまちづくりは「つながりづくり」です。地域まちづくり活動を効果的に進めるために、地区内の各団体と連携を図ります。 1 地区内団体間の関係強化の推進 | | | | | |
| 活動指標 | 自治会・町内会との意見交換会開催数(年間) | | | | | |
| 目標値 | 現状値 | 1回 | 3年後目標値 | 2回 | 6年後目標値 | 2回 |
| 実績値 | H23 | | H24 | | H25 | |
| 役割期待 | 地区内団体は、相互に連携を図り、地域まちづくり活動を実施することが期待されます。 | | | | | |
| 事業スケジュール | 第1期 | | 第2期 | 第3期 | 第4期 | |
| (地域) | H23 | H24 | H25 | | | |
| | 検討 | 実施 | → | → | → | → |
| (市域全体) | | | | | | |
| 期待される事業の成果 | 地区内団体との連携により、地域ぐるみでのまちづくりが進み、「住んでいることを自慢できるまち」の実現が図られます。 | | | | | |
| 担当部課 | 市民自治部六会市民センター | | | | | |